

03.05.21

アーバンリノベーション研究 発表

中山間地域における人口還流現象の
実態とその要因に関する研究
ー兵庫県淡路島を事例に

政策メディア研究科 修士課程2年
片桐 暁史 / akifumi@sfc.keio.ac.jp

本日のテーマ

研究計画
おさらい

問題意識
目的
意義
手法

昨年度の
研究

春学期
秋学期

これから
やること

アンケート
ヒアリング
論文かきかき

研究の目的

① 問題意識

中山間地域・・・国土面積の7割
農業生産の4割
若年層流出による過疎・高齢化
↓↓↓
人口還流の正確な実態把握は
わが国の地方圏の将来に重要課題

② 研究の目的

兵庫県淡路島を事例に、
人口還流の実態と要因を解明

どのような人が、
どのような条件の下で帰還し、
どのような役割を果たしているか

③ 研究の意義

既往研究・・・国調、住基
(×) Uターンの正確な実数把握
⇒同窓会名簿分析により
市町村単位での帰還先の特定
淡路島・・・
人口移動を左右する様々な要素



slide
3 / 10

03.05.21 政策メディア研究科 修士課程2年 片桐 暁史
「中山間地域における人口還流現象の実態とその要因に関する研究」

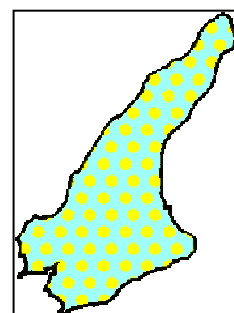
研究の流れ

2001卒業制
～
2002.05

< 昨年度 >

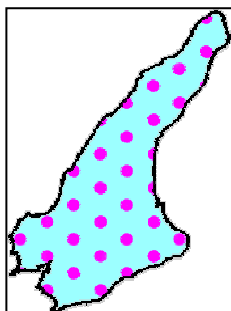
国勢調査
住民基本台帳
事業所統計

現地巡検
役場ヒアリング
既往研究調査



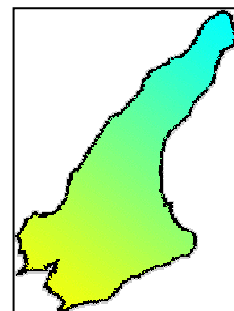
③ ヒアリング 調査

- ・ミクロな把握
- ・地域性
- ・役場/Uターン支援
センターの現状



④ 考察 地域情報構築

- ・あるべき条件と
果たせる可能性
- ・GISを用いた
地域情報の構築



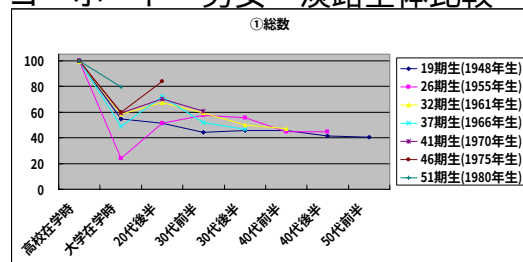
slide
4 / 10

03.05.21 政策メディア研究科 修士課程2年 片桐 暁史
「中山間地域における人口還流現象の実態とその要因に関する研究」

2002年度春学期

① 洲本高校同窓会名簿 整理

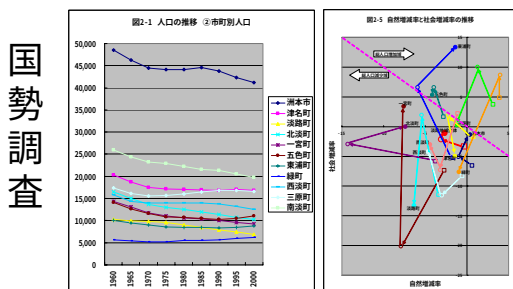
コーホート・男女・淡路全体比較



② ヒアリング

兵庫県淡路県民局 労政課
洲本市 企画課
淡路町 企画課
北淡町 企画課
西淡町 商工観光課
南淡町 町長公室
洲本高校 進路指導

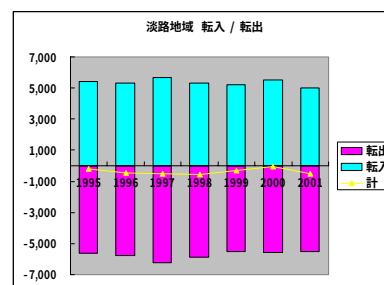
③ 人口動態 整理 (1)



国勢調査

④ 人口動態 整理 (2)

住民基本台帳



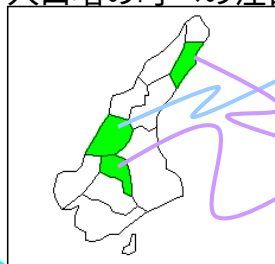
slide
5 / 10

03.05.21 政策メディア研究科 修士課程2年 片桐 暁史
「中山間地域における人口還流現象の実態とその要因に関する研究」

2002年度秋学期

① 現地巡検

人口増の町への注目



五色町
企業誘致・福祉
による人口増

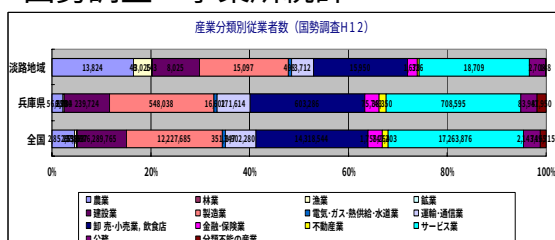
東浦町
緑町
ベッドタウン化
による人口増

② ヒアリング

兵庫県淡路県民局 労政課・農政課
五色町 地域開発課・住民課・
健康福祉総合センター・
中山間総合活性化センター
東浦町 企画情報課・住民課
淡路地域中小企業支援センター

③ 産業構造 整理

国勢調査・事業所統計



④ 既往研究 サーベイ



slide
6 / 10

03.05.21 政策メディア研究科 修士課程2年 片桐 暁史
「中山間地域における人口還流現象の実態とその要因に関する研究」

これからやること

① やること大分類

- ① アンケート調査
- ② ヒアリング調査
- ↓ ↓ ↓
- ③ 考察・論文

② アンケート調査の目的

< 淡路島への帰還実態 >

どんな人が帰還してるの？
時期、家族、職、きっかけ

帰還していない人との違いは？

③ アンケート調査の対象・比較法

26期生（1955年生まれ）
淡路島在住者（帰還者）

帰還・非帰還
の比較

26期生（1955年生まれ）
淡路島非在住者（非帰還者）

帰還者の分析

コーホート間
の比較

41期生（1970年生まれ）
淡路島在住者（帰還者）

slide
7 / 10

03.05.21 政策メディア研究科 修士課程2年 片桐 暁史
「中山間地域における人口還流現象の実態とその要因に関する研究」

Uターンの誘引・要因・阻害要因

① 誘引・要因

- ① 親の面倒（時点、将来のために）
- ② 家業の継承（時点、将来のために）
- ③ 幼少からの人間関係で生活したくなった
- ④ 親戚が多く生活が安定するから
- ⑤ 結婚のため
- ⑥ 豊かな自然環境
- ⑦ のんびりとした土地柄
- ⑧ 良好な宅地事情に魅力を感じて
- ⑨ 物価が安いことに魅力を感じて
- ⑩ 出身地域の発展に貢献したくて
- ⑪ 新しい仕事を始めたかった
- ⑫ 会社や地域での人間関係に疲れた
- ⑬ 会社を辞めざるを得なくなった
- ⑭ 体をこわした
- ⑮ 出世の見込みがなくなった
- ⑯ 都会のせわしさに嫌気が差した
- ⑰ 持家を取得できる見込みがなくなった
- ⑱ 淡路島から通勤圏になった（橋）
- ⑲ 福祉サービスの充実

② 阻害要因

- ① 移住先に自分にあった職種が不足
- ② 収入が下がる
- ③ 地域社会へうまく溶込めるか不安
- ④ 出世へのこだわりがあった
- ⑤ 妻（夫）の仕事
- ⑥ 子供の転校
- ⑦ 子供を都会の進学校へ入れたかった
- ⑧ 華やかな都会生活へのこだわり
- ⑨ これまでに築いた人間関係を維持したかった
- ⑩ 子供が友達関係を維持したかった
- ⑪ 妻（夫）が近所・親戚等の人間関係を維持したかった

再流出要因）

淡路島内に親族が減った（震災）
勤務先が島外へ移った（橋）
結婚のため

slide
8 / 10

03.05.21 政策メディア研究科 修士課程2年 片桐 暁史
「中山間地域における人口還流現象の実態とその要因に関する研究」

アンケート調査で知りたいこと

① 居住経歴と移動理由、変化

何歳～何歳にどこに居住？
それぞれ移動の理由は？

移動前後における変化
職・勤め先、収入、通勤時間、
人間関係、住まい、余暇、満足度

② 基本属性（家族・学歴etc）

きょうだい数、位置
家族構成、両親の有無・同居
配偶者の出身地

学歴、所在地
現在の職業、住まい形態

③ 愛着と今後、自治体へ要望

淡路島への愛着・満足・不満は？
今後、＜帰還者＞再転出は？
＜非帰還者＞帰還は？

自治体に望むこと
情報提供、宅地造成、企業誘致
地場産業活性化、生活環境造り

④ 地域における役割

地域の発展への関心

現在取り組んでいること
積極的に活動している地域組織
（本人・配偶者）

slide
9 / 10

03.05.21 政策メディア研究科 修士課程2年 片桐 暁史
「中山間地域における人口還流現象の実態とその要因に関する研究」

今後の予定

2001卒業制作
～
2002.05

既往研究/統計
仮説立て

アンケート票作成・実施
～2003.07

ヒアリング

2003夏～秋

考察

2003秋～冬

slide
10 / 10

03.05.21 政策メディア研究科 修士課程2年 片桐 暁史
「中山間地域における人口還流現象の実態とその要因に関する研究」